

平成22年度議会報告会「質問・意見・回答・今後の対応」概要

番号	大項目	小項目	報告会当日の意見内容（H22年11月26日・12月1日）	報告会当日の回答内容（H22年11月26日・12月1日）	担当部局	市の対応状況と考え方（H23年3月）	備考
1	総務文教	企画	○広報誌に出前講座のことが掲載されていたがどのようなことか。	■行政全般にわたり、地域や小グループで勉強や説明を必要とされる場合は要請していただければ職員が向向いて、説明やアドバイスをさせていただきます。	企画部 (秘書広報課)		山崎西
2		企画	○合併5周年式典があったが、災害は一つ、市民は一つという意識改革が必要。自分も森林王国等、文化活動を通して交流しているが、旧町意識が残っている。	■そのことほどこの部所でもよくいわれます。よく肝に銘じて議会活動に取り組みます。	企画部 (企画管理課)	合併後、6年目が過ぎようとしている現在において、なお旧町意識があるという意見については、意識の問題であるため完全に払拭されてしまうには、いまだ時間を要する問題であるかも知れません。しかしながら、市としてはことさら旧町意識の払拭といったことに拘ることなく、それぞれの町において特色あるまちづくりを進めることが重要であると位置づけるなかで今年度からは、各町域にまちづくり協議会を設置し、それぞれのまちづくり計画の策定に向けて取り組みを進めているところであります。今後、具体の計画が出来上がってくるなかでそれぞれ情報の共有を図り、各町がそれぞれ良い意味で刺激し合いながら特色あるまちづくりに取り組むことが地域力の向上につながりひいては市としての活性化と一体感の醸成につながるものと考えるところであります。	三土
3		企画	○工事費が高かったという話が出てくると思うが、し尿処理券問題、和弘美術館の問題、水道の問題というのはこの前の行政懇談会でも目の前にぶら下がっている大きな問題と話をし、その中で市の方が和弘美術館に関してはあなたたちの税金を1円も使っていないというような説明をされた。じゃあその8000万円はどこから出たのか、宝くじでも当たったのか誰か寄付したのか私は質問しようと思ったが、所詮、県か国の補助であろうかと思うので税金であるのに、私たちは国にも税金を払っているのに、お前たちの世話にはなっていないというような考え方。		企画部	行政懇談会では、和弘美術館に関し住民訴訟が行われていること及び美術館購入にかかる財源を説明したものです。 災害市の限られた財源の中で、県の補助・交付税措置のある起債を有効に活用して、和弘美術館を取得しています。これをカヌーのクラブハウスとして、地域活性化のために有効かつ効率的に活用していく予定です。交付税・補助金等についてもみなさんから納めていただいた税金等が財源となっていることは、職員も十分認識しています。	千種
4		企画	○少子高齢化で、年寄りが町まで出てくるのに6キロある。タクシーを使用されているが、なんとか市営バスの運行を考えられないか。黒土經由鷹巣岩野辺でも結構であるので、あるいは山崎まで出るのに鷹巣大沢經由等バスを回すことができないのか。	■公共交通という方法で、今、市でもアンケートを取られて、来年の4月1日から実証運行が始まるということでは決まっているが、委員会でもどの路線をどう走らせるかという報告はまだない。今現在では試験運行に向けて協議会で検討されているということしか聞いていない。報告があり次第今言われた路線が含まれているかわかる。アンケートの結果についても報告がない。どういった形でどの路線のバスを走らせてもらいたいというのを各自治会から要望していただく時期だと思う。千種高校へ波賀や一宮から進学したいという生徒もいるので議会からも議員連盟をつくって、鳥が叫トンネルを通る路線を作っていただきたいと市長に申し入れている。どういった路線が必要で誰が使うかということを是非各自治会からも要望していただきたい。よくあるのは、そういうバスがあったらいいなというので、結局空で走っていると、すぐ廃止の対象になるので、そのバスがあると誰が乗るのかということを突き詰めて考える必要があると感じている。	企画部 (企画管理課)	公共交通については、本年度、地域公共交通活性化協議会を開催するなかで災害市地域公共交通総合連携計画を策定し、来年度以降計画に基づき実証運行等を実施することとしております。この計画のなかで幹線軸と支線を位置づけるなかで幹線軸については、既存の神姫バス路線を市内生活幹線交通として今後も維持・継続を図っていくこととし、千種～波賀間においては、幹線軸となりうるかどうか実証運行により検証することとしております。また、一方、支線については、幹線軸以外の生活交通を守るための支線を形成する軸を指し、主に既存の「もしもしバス」「思いやり号」「波賀ミニバス」の路線で構成されており、地域の特性とニーズに応じた効率的な運行を図っていくべき路線としております。今後、公共交通空白地において住民主導型運行の導入をする場合は、支線として位置づけるなかで空白地における多様な運行方式の導入可能性について地元と行政が連携して検討したいと考えております。	千種
5		総務	○災害市の自主財源は30%ほどで税収も減っているが本当に財政は大丈夫なのか。	■災害市の財政健全化について、自主財源が少なく、交付税95億、国県補助金42億円などに頼っている。財政健全化の基準があり（実質公債比率）18%以下なら健全。災害市は現在19.6%となっているが、平成28年には18%以下となるよう財政健全化計画を策定し取り組んでいる。	総務部	当日の回答内容どおりです。 (実務については、この数値を目標に行います。)	山崎西
6		総務	○広報に職員数が100名ほど減ったとあるが臨時職員の数と賃金は人件費に反映しているのか。	■職員数は合併10年以内に120名削減することとされており、現在までに102名削減されている。正職員に代わる臨時職員は約220名で、人件費にはカウントされていない。賃金なので、物品費にカウントされている。	総務部	基本は当日の回答内容どおりです。 1. 正規職員分は人件費で減 2. 臨時職員は、総数を現状以内で努力（正規の補充必要）	山崎西
7		総務	○一般会計は黒字だと聞かすが、基金を取り崩して黒字としている事などを一言書いて欲しい。補助金80億円ほどあるが、これをキチットして、水道代金引上げに一般財源から繰入では。財政は本当に大丈夫か。	■実質公債比率を平成28年までに18%とされているのを1年間ほど前倒ししたいとのことで、基金も30億ほど積む努力もしている。財政は大丈夫と考える。	総務部	平成23年度以降は、基金をとりくずさない。収支ゼロをめざします。 (このためには、市民に適切に負担を求める事も含めて、長期的視野で健全化を図ります。)	山崎西
8		総務	○借金が膨大であるが、議会では減らそうとどんな取り組みをおこなっているのか。	■予算・決算特別委員会で指摘はしているが、借金が全て悪いというのではなく無駄を無くするチェックはしている。 合併特例で普通交付税が19億円出ているが、特例が無くなったら大きく減る。また、職員を減らすことによって毎年1億円削減しているが追いつかない恐れもある。議会としても厳しくチェックしていきたい。	総務部	借金ができるから事業を行うのではなく、真に必要な事業を行うために借金をする明確な姿勢で望みます。 (活用する際も、過疎、辺地、特例債等、交付税算入債に限定します。)	山崎東
9		総務	○夕張市のようなことにならないのか？災害市の今の状況を聞きたい。	■災害市はまだそこまではいっていません。具体的には実質公債比率という借金の限界値があるのですが、現在災害市は19.6%です。これが18.0%以上になると兵庫県に相談し県の指導を受けながら予算繰りとかそういったことをする、2年程前に21%前後であったものが、現在19.6%となっており、わずかですが下がっています。まだ18%には届いておりませんので、自分たちで予算組をできるという状況です。悪く言えばすれすれの状況ですが、一昨年よりは部分的に改善になっている。しかし、そういったことの繰り返しになっているので、財政健全化が大事だろうと考えています。	総務部	平成23年度以降、基金をとりくずさない。収支ゼロをめざします。 (このためには、市民に適切に負担を求める事も含めて、長期的視野で健全化を図ります。)  借金ができるから事業を行うのではなく、真に必要な事業を行うために借金をする明確な姿勢で望みます。 (活用する際も、過疎、辺地、特例債等、交付税算入債に限定します。)	一宮北
10		教委	○学校規模の適正化が言われているが、千種東小学校や一宮北中学校の校舎建築の考え方はどうなっているのか。	■学校規模の適正化は、一学級25名、一学校150名規模を目標に取り組みされている。一宮北中学校校舎改築は、現在の生徒が収容できる校舎改築となっている。また、千種東小学校は統合後、地元の公民館として利活用することが示されている。	教育委員会 (教育総務課)	■耐震化を図ることを目的としています。 ■千種東小学校を閉じた後、公民館として地元が使用することの決定はしていません。今後、(仮称)跡地活用協議会において検討することとなっています。	山崎西

平成22年度議会報告会「質問・意見・回答・今後の対応」概要

番号	大項目	小項目	報告会当日の意見内容（H22年11月26日・12月1日）	報告会当日の回答内容（H22年11月26日・12月1日）	担当部局	市の対応状況と考え方（H23年3月）	備考
11		教委	○自治会長会で幼保一元化について教育委員会から来て話をされた。平成24年4月からこの幼稚園を改修してそこに持ってくるということを今から保護者に話をすることを言われた。地元におる人間として、あの場所は下が交差点で非常に危ない場所であるのにそういう場所にされることは理解できない。安全面のことをなぜ一番に考えられないのか。小学校のプールの近くにするとか杉の子保育園のところに土地を確保するとかいうことであればわかるが。地元のことをわかっていない人間がやるということが大変心配である。	<p>■幼保一元化の年次目標までは報告を受けているが、場所までは出てきていない。</p> <p>■市当局の方が自治会に先に話をもっていくというのは確かに問題である。</p> <p>■幼保のことはごもっともである。所管ではないが、あくまでも住民のみなさんの意見を十分に聞いてするという事であるので、あまり心配されなくてもいいと思う。</p>	教育委員会 (こども未来課)	<p>総務文教常任委員会で学校規模適正化・幼保一元化の優先度の説明しました。 *実施優先度をA B・・・で区分したものです。</p> <p>総務文教常任委員会に資料提出し、学校規模適正化・幼保一元化の各中学校区毎の目標時期を表しております。 *波賀中学校区は学校給食センター機能集積を含めて説明 *千種中学校区と波賀中学校区は施設計画を説明</p>	千種
12		教委	○学校の統合の話で協議会を立ち上げるのに今年の6月にひどいスケジュールで強引にやられた。こちらの意見は何も通らず、向こうで段取りだけされて、私は信用できない。	<p>■今のお言葉はしっかり聞いておく。</p>	教育委員会 (教育総務課)	<p>協議会設置の目標時期を示して懇談会を進めました。懇談会としての「協議会」への移行は各懇談会の「合議」によりされたものです。</p>	千種
13		教委	○学校規模適正化計画と幼保一元化推進計画、学校給食センター機能集積については、議会の方は基本的に当局が示した計画を推進するという立場なのか。議員として市民の意見を聞くスタンスをもっておられるのか。	<p>■前回の総務文教常任委員会で、千種の統合が完全に決まって、次は波賀の番ということで、目標年次を提案してきた。1学年に1人しかいない学年が出てきているというふうなことを考えた場合にその子どもにとって小学校生活がどうなのかとか、でも一方では地元の方にとって小学校がなくなるというのはどういう意味をもつのかとかいうようなことを今真剣に考えてきている段階で、議会として教育委員会が明示した時期を承認したとか推進するとかそういう風な受け止め方ではなくて、あくまで基本は地域住民の関係者の合意を得たうえで進める、合意を得られなければ進めない。給食センターの問題もPTAを中心に受け入れられないということをきちっと言われているから、進んでいないというのが現状なので、私が大事だと思うのは、地域住民の方がどういふふうに思いをまとめていっていただけるかと思っている。議会として認めたとかそういう段階ではない。</p> <p>■当局が示した内容を大筋としては大体それでいだろうという確認はとっている。ただ、無理やりやるということはない。地域の人が了解してもらわないと出来ないことなので、それは前提である。</p>	教育委員会 (教育総務課) (こども未来課)	<p>【学校規模適正化・幼保一元化】 児童数やクラス編制の状況から中学校区毎の優先度を設定し、総務文教常任委員会及び行政懇談会で説明し、その後、実施時期を総務文教常任委員会に説明し、小学校区毎の懇談会で説明をし、懇談会において、校区の方向性について協議をしています。</p> <p>【給食施設機能集積】 学校規模適正化・幼保一元化計画の優先度設定により、波賀中学校区は平成25年4月目標となったことから給食機能集積を含めた3施策を一体的に進める方針とし、懇談会に同時に取り上げさせて頂いている。 (各中学校区毎の懇談会) 昨年11月から12月に第1回の懇談会を開催しました。 *状況は12月14日の総務文教常任委員会に説明 *波賀中学校区は1月中旬に第2回目を開催 【懇談会での議論や協議会での手続きを得て進めていきます。】</p>	波賀
14		教委	○幼保一元化、学校適正化のことについては総務文教常任委員さん方がおられるところで申し上げなければならないことであるが、この話は唐突のことで話が出た。私も具合が悪いなどと思っている。議会報告会は中身を見ていると大切な事柄なので推進して、市民の意見を議会に反映されたい。幼保の件については、そういう意見（11番の意見：千種幼稚園を改修して幼保一元化を図るという説明を聞いたこと）そこに持ってくるということが出たということ伝えていただきたい。		教育委員会 (教育総務課) (こども未来課)	<p>幼保一元化、学校規模適正化について、平成21年度に計画を策定し、その内容を小学校区毎に説明会を開催しました。計画推進の優先度については、昨年の行政懇談会や地区別懇談会等で説明を行ってまいりました。更に、具体的な推進方法（時期や場所等）について、市としての考え方を示させていただく中で、校区懇談会において地域や保護者の理解や意見を求め、推進していきます。</p>	千種

平成22年度議会報告会「質問・意見・回答・今後の対応」概要

番号	大項目	小項目	報告会当日の意見内容（H22年11月26日・12月1日）	報告会当日の回答内容（H22年11月26日・12月1日）	担当部局	市の対応状況と考え方（H23年3月）	備考
15	民生生活	市民生活	○にしはりま循環型社会拠点施設の枠組み5市町の内、姫路市やたつの市は逃げていく話を聞いたが大丈夫か。	■現在は聴いていない。	市民生活部	2市の意向は聞いているが、平成25年の供用開始以後の協議となります。財政的負担を増やさず、適切な運営をしていく為、動向を注視していきます。	山崎西
16		市民生活	○し尿券問題報告書が出ているが、説明責任とか今言われ、説明責任もだが、実際の責任はどうなっているのか？白谷市長時代のことから、ずっと放置状態とか書いてあるが、報告だけで、議会の方はどう思っておられるのか？この説明をしてほしい。	■責任・賠償のことについては、これから決めていくことになる、30日からの本会議の一般質問にもでてきます。せひ傍聴をしてください。	企画部	公金補てんに係る請求と懲戒処分を行いました。 問題を起こさないようにすることが一番大事で、今後万一、起きた時には原因及び責任を徹底して追求していきます。 当局が内部の検討委員会を設置されたが、外部の調査委員会を早期に立ち上げることも提案していきたい。	三土
17		市民生活	○議会は活動活躍されているが、し尿券報告書に関する件について、起こってからあれこれ言われている。起こる前に正していくべきではなかったのか、自分は会社勤めだからそういう風に努めている。今日は波賀町や千種町の議員さんが来られていて関係ないところもあるかも知れないが、市から逮捕者が出るなんて、市民として恥ずかしいことです。起こってから攻めるだけが議員さんではないでしょう。	■言われているとおり、監視不足だったことは認めざるをえない問題が起きた時に、警察の力をかりないといけない部分もあるし、内部調査の委員会も2、3出来たが、身内で調べるとするのは難しい。最終的に今の市長が弁護士とかに依頼して5人の民間の委員会を作り報告書が作られた。警察以外ではこれ以上のものはでないでしょう。問題が起きてからすでに3年以上経っている。その間に資料がなくなったり、故意に捨てられたのではないかとということもあり、これ以上の追及は難しいと思う。こういう問題になる前に議会が監視しなければいし、100条に特別な証人喚問、警察へ告発の出来る権限が与えられている。しかし、残念ながらこの委員会を議会の中に作るためには、議員の多数が賛成しなければ委員会自体がつかれないということがありまして、議会としても一致してこの問題を可能な限り明らかにしようということに対して、力が足りなかった。反省をしています。この外部委員会の報告書のなかでも議会が十分に力を発揮しなかったと厳しい批判を受けておりますが、個々の議員がどうしたこうしたとかはさておき、議会全体がしっかりした対応ができなかった。力不足であったと反省して、今後に活かし、頑張っていこうと思っております。	市民生活部	市として、このような不祥事の発生は、市民の信頼を著しく失墜させるもので、誠に申し訳なく思っています。職員のモラルの欠如と組織として公金の取り扱いに関する厳格さが欠けていたことによるもので、一刻も早い信頼回復に努力していかなければなりません。そのため、コンプライアンスの確立に向け、職員一丸となって取組まなければならないと考えています。	三土
					企画部	行政としては、再発防止のための取り組みとして、コンプライアンス条例を整備し、市民の信頼を得られる市政運営を行います。	三土
					総務部	・行政、議会ともチェックするポイントを明確にすることが必要です。 ・常にこれでよいのか、今までどおりで、その意識を持つようにします。（言葉でなく、具体化する。）	三土
18		市民生活	○消防の方の補助金が削減されるということもある。 ○消防に関して波賀町では、消防車、ポンプは100%町でみるということできていた。その中で、一般部に関しては100%ではないということ先日聞いた。今年度までに買い替えるべき機械が結構ある。これを配備しないで次に進もうとするのは疑問がある。	■消防団について、平成21年に市一本化になり、再編・調整を図っておるところである。旧波賀町は消防車、詰所等に100%助成がされておったようであるが、市の財政もあって調整中である。活動交付金は波賀町ではアップするようである。 ■消防に関する詳しいものが出ていますので、自治会長さんを通じて出ささせていただきたいと思う。 ■我々も説明を受けて間がないし、このことについては市の方に持ち帰って協議をさせていただきたい。議会の立場では即答はできないので、そういった意見が出ていたということを伝えたい。 ■更新時期が来ているのに先延ばしになっているものがあるということか。	市民生活部	・H23.4月に向け、分団の再編と機械交付金、各種装備の補助制度を統一すべく調整を進めているところです。 ・H22.12.8波賀町連合自治会から本件に関する要望書が提出されたこともあり、市としては、旧波賀町域の消防積載車及び小型ポンプで更新時期を経過しているものについて、緩和措置を考えています。 緩和措置を講じるのは仕方ないが最終的には統一すべきであると考えます。 また理解を得られるよう、充分に説明をしなければならぬと思っております。	波賀
					市民生活部	同上	波賀
19		市民生活	○消防団の一般部が100%の助成でなくなると、小さな自治会ほど1人当たりの負担が増える。 (更新時期が過ぎている機械を読み上げ)	■民生生活常任委員会で協議してまた返してもらえるか。人口の少ないところは大変だと思うのでよく協議してください。(司会者から議員に対して)	市民生活部	同上	波賀
20		市民生活	○それからし尿処理券問題にしても5年も6年もかかってきていると思うが、そういう税金を使う頭で水道をやられたのではないか。だから高くついたのではないかと思う。これを一つにして考えるというのはゴウクいな考え方であるが、そういうこともあると思う。今言った問題について警察とか訴訟とかいろんな問題が上がっているから直接我々がどうこう言うことじゃないかもしれないが、やはり、倫理上放っておける問題じゃない。宍粟市のトップがそういう考えで税金を使っているのならこれは問題である。税金というのはもう少し大事に使っていただきたい。それが欠落しているんじゃないかという気がする。	■し尿券に関しては、検討委員会の調査報告書が11月の広報で1枚もので配られた。その中で市の当局や議会、監査委員についての責任も明記されているし、行政を監視する議会として対応が不十分であったということも書かれている。議員の中でも意見が分かれています。市民の方に向けた損失をどう補っていくかということを担当委員会で十分に議論しながら正していきたい。	企画部	市民から納税していただいた税を予算を通し各種の施策に使っております。予算の使用にあつては、最小の経費で最大の効果を生むことを念頭に行っております。 なお、し尿券問題については、管理がずさんであったことが大きな原因でありますので、現在は、この反省を踏まえ厳しく管理しているところです。	千種
21		健康福祉	○一人暮らしの老人が風呂で倒れ、民生児童委員が家族への連絡などに困った。個人情報保護の事もありますが、一人暮らしの方々に関する名簿や対応の制度化などが検討できないか。	■医療キッドの利用などもある。(普及が少ない。)	健康福祉部	■一人暮らしの高齢者の方の情報については、宍粟市個人情報保護審議会の答申に基づき市から一人暮らし老人等の名簿を提供し、民生委員さんが訪問等で得られた情報を市が頂いている状況です。民生委員さんがご存じなければ市にも情報が無い可能性が高く、情報をやり取りして整備を進めているところです。民生委員さんの交代とか何らかの事情で分からない場合には一度市役所にお問い合わせください。 独居老人については、医療キッドの啓発を進めると共に、民生委員さんを中心に地域力を高め、人間関係の連携も築いてほしい。情報については、包括支援センターで、充分に把握し、共有していくべきであります。	山崎西
22		健康福祉	○介護保険で9月に市長名でお詫びの文書が来ていた。内容が気に入らなかつたので、議長室に行って言った。その時には担当の部長などが来てお詫びされた。その後徴収の文書が来たが、追徴金ならわかるが延滞金となっていた。一般的に使われる文書ではないので憤慨して友人に相談し、その伝手である議員から担当課に行ってもらった。それに対するお詫びの文書も来ない。間違えていても平気である。その文書のコピーをもってきているのでお渡しする。そういうことがあったということだけ言っておく。 ○通知を受け取った人、高齢者に対し、田路勝さんの名前の公文書でもらうのが筋である。担当は2度もミスをしている。そのまま置いておくのか。ほかの職員にも見せしめになるように。	■我々も委員会に指摘をした。何の落ち度もないのに上から目線の延滞金とはどういうことかと追及した。今後はこういうことがないようにすると担当部長も言っていた。	健康福祉部	事務処理上のミなので、今後起こることのないよう、充分注意していきます。 納付書に延滞金という欄があったことについては、金額は入れておらず、ご本人にもその旨説明させていただいたものです。通知書に必要な延滞金という欄があったことについては、もっと配慮が必要でありました。	波賀

平成22年度議会報告会「質問・意見・回答・今後の対応」概要

番号	大項目	小項目	報告会当日の意見内容（H22年11月26日・12月1日）	報告会当日の回答内容（H22年11月26日・12月1日）	担当部局	市の対応状況と考え方（H23年3月）	備考
23	産業建設	土木	○市道鹿沢中比地線や県道相生山崎線ができ、危険な交差点が出来た。6月の開通から8月15日までに5件の事故があり、先週の土曜日にもあった。重大な死亡事故等が発生しないか心配している。自治会や行政、警察等で現地立会いもし、検討をお願いしているが、いくら要望しても看板が少し増えたくらい。何とか信号機の設置など解決手段を。	■常任委員会があるので取り上げ、土木部長や市長にも伝え回答する。	土木部	8月16日に関係自治会（8自治会）の自治会長さんの出席の中、現地にて現在の状況、危険解消策等協議した。警察より「止まれ」の明示を県道側に設置している理由、地元からの信号機設置要望に対しても現在設置出来ない等説明され、一応の理解が当日得られたと感じていたが今回、再度要望が出てきた。これを受けて警察と再協議したところ、信号機設置要望書の提出により前向きに考えていく旨の回答を得たので、城下地区の会長さんの連名により要望書の提出をお願いするところです。	山崎南
24		土木	○揖保川の河川敷に竜野市が工事用の道路をつくって工事をしているが、あれだけ土砂が堆積しているのに、撤去するという話を通じない。北の方（一宮町）では、どんどんやっているのに何とかならないか。ついでに出来ないか。	■災害の現場と言う事で、北部で土砂撤去を盛んにやっています。市長や土木部長に強く言っておきます。	土木部	堆積土砂の撤去については、平成22年11月4日付けで城下地区より要望があり、河川改修、堆積土砂の撤去について、国土交通省姫路河川国道事務所に副申しております。今回、要望のたつの市の実施に併せた撤去については、12月6日にたつの市担当者が来庁され、この件についてお願いするとともに、国土交通省に再度要望したところです。今回のたつの市の工事は、地元負担が発生するため市では対応難しいが、完成時には出来るだけ広く低く土砂の処理を行う事の約束を得ました。国土交通省に対しては、今後、引続き要望を行い、今回の撤去は無理ではありませんが、継続してお願いしていきます。	山崎南
25		土木	○上比地の通学路の変更を、8月16日に申し入れた、警察の交通課長が準備中だと言った議事録もあるが、今でも何ら変わっていない。回答をいただきたい。	■早急に対応するよう進言します。	土木部	8月16日に警察より準備中である旨、報告がされていますが、再度確認したところ、本年度中（3月までには）横断歩道の設置をする旨の回答をいただいています。もう少し時間を要するため、ご理解をお願いします。	山崎南
26	産業	産業	○上勝町の話があって聞いた。そういう年寄りでもお金が入るようなことを考えてほしい。そういうことがあって値上げだというのはわかる。	■高齢化が進むということはみんなわかっている。産業建設常任委員会で視察にもあちこち行っている。一宮にも木材供給センターができ、儲かる林業をやろうとしている。あるところで一寸くらいヒノキを山でとってきて売る。そこではおばあちゃんが木を切ってきて小遣いになると、この取り組みはなかなかいいなと思って帰ってきた。何かそういうことをやらなければ生き残れないと思う。それは我々の委員会であるので考えていきたい。そういう考え方にならなければいけないと思っているのでご理解いただきたい。	産業部 （森林観光課）	兵庫木材センターは少量の木材の受入れも可能で、山林所有者の収入につながると考えます。また、木材に限らず、隠れた産品や新たな特産品づくりで収入になるよう、意欲のある方を対象に講習会等を開催し、支援したいと考えています。	千種
					企画部	上勝町の地域特産品造りは参考とするものが多いと考えており、宍粟市においても地域資源を活かした特産品づくりを地域と共に進めていきたいと考えております。	千種
27		産業	○もみじ山など観光地としてもっと力を入れていただきたい。	■観光地は市内にたくさんある。点々になっているところをどう結んでいくか、都会のオアシスになるよう考えていきます。	産業部 （森林観光課）	もみじ山周辺は市の玄関口の観光地として市内外の入山者も多く、市として新年度以降、土地所有者の同意を得ながら順次整備を進めていきたいと考えています。	山崎東
28		産業	○菅野から篤沢のトンネルの話がなくなった。促進協議会もあったと思うが、議会はどのように対応されているのか。 ○切窓峠のことで、10年あまり県道が置き去りにされたまま、いつまでたっても変わらないといったことをどう思われているのですか？長い年月経っているのどう思われているのか？	■トンネル工事の関係は凍結されたが、工事全体は凍結ではない。2カ年にわたる工事を計画していたが、国の予算見通しがたなくなり、トンネル部分のみ工事の入札が延期されている。道については、入札発注がされているので、議会としてはトンネルも含めて工事着工を要望しているところです。 ■切窓峠についても、少し予算がつき、拡幅の予定になっています。	産業部	議会の回答のとおりであり、推進協議会に対しては凍結に至る経過説明を行い理解を得るとともに、休止していた協議会活動を再開することで合意を得ました。市においては、国県並びに関係議員等に対しトンネル工事の早期再開と完成の旨の要望を行いました。回答にあるトンネル前後の取り付け道路の工事の進捗については、下記のとおりです。 ・篤沢側取付道路工事 平成23年3月の完成を目途に平成22年10月から補完工事に着手している。 ・菅野側取付道路工事 平成23年度の工事着手を目指して、現在、地下水（井戸）調査を実施している。	三土
29		産業	○県産木材供給センターが出来たが、須賀の木材センターは赤字なのか？ 新たにまた作って可能な営業ができるのか？木に価値があるのだからいくらでも高く売れるように付加価値を高めてやってもらえばいいのだが、莫大な二重投資になっていませんか？県がよく許可したなあと思います。 いきさつは、議会はどのように考えておられるのかと思います。	■流通加工センターは20数年前の話だと思うが郡挙げての事業だったが、営業が難しく、行政の方はノータッチになり、関係団体が起債の返還をされている所だと思いません。新たに一宮町で県の木材センターは、国県あげての事業が進められており、行政はノータッチで、14社で共同企業体を組み事業がすすめられているところです。 ■国県が厳しい状態の中で、後押しのない状態では、だんだん先細っているのは事実です。市として、議員として、波賀・千種においては過疎地が多いということで、過疎自立促進法の適用を受けて合併特例債と併せて活用し北部地域の道路を含めソフト事業も含めて自立ということを進めるということになっています。次回の議会でも市長の姿勢を聞くつもりです。どうしても北部があつまわしになる、議員がいないからとか、人口が少ないからということだけではなく、過去に行われた社会整備の拡充とかいうところにお金が必要でバスが通らないなどというところがある。上下水道の値上げの問題も起きているが、全体的な財政の中で、調和のとれた北部の開発をどうするかということは、議会上げて勉強しなければならぬ、特に北部から出ている人間ですから他の議員にも過疎の格差をどうしていくかということを協力とか参加をどうしていただけるか考え、努力をしていきます。	産業部 （森林観光課）	兵庫木材センターは素材、製材、加工、建築業者21社が出資し、原木から製品販売までを低コストで行う新たな流通システムを作ろうとしています。低コストで販売ができれば海外の製品と競うことができ、ひいては国が目標とする国内消費の50%を国内産の材で賄うこととなります。流通加工センターは、良質材（A材）を扱い、兵庫木材センターはB、C材を主に集積、製品化するとともに違いがあり、両者相まって宍粟材のブランド化を進めることができるものと考えます。兵庫県は兵庫木材センターが全ての木材を買い取ることで進めるため、宍粟だけでなく県下の山林管理に有益であることから県としても全面バックアップし推進しました。搬出間伐が進み、森林管理につながるものと考えます。また、兵庫木材センターが稼働することにより地元を中心に、雇用を進めており地域の活性化に貢献しているものと思われます。	三土
30		産業	○保安林指定について、全地域困っていると思うが、猪や鹿の被害が出ている。	議会側確認します。	産業部 （森林観光課）	公共治山事業の実施に向けた流域内山林の保安林指定については、指定後の法的な制限があるなか、県と市が連携し、山林所有者にその意義を説明し指定を行っていますが、大変厳しい財政状況から治山堰堤の本体工事予算の確保も困難であり、また、21年災で甚大な被害が発生した渓流や山腹の復旧を緊急に取組んでおり、森林整備予算が確保できないのが現状です。事業内容も移り変わり現在では所有者負担のかからない間伐メニューもあり、実施についてはしそ森林組合に相談していただきたい。	三土

平成22年度議会報告会「質問・意見・回答・今後の対応」概要

番号	大項目	小項目	報告会当日の意見内容（H22年11月26日・12月1日）	報告会当日の回答内容（H22年11月26日・12月1日）	担当部局	市の対応状況と考え方（H23年3月）	備考
31		水道	○水道料金が値上がりをするという意見が聞いている。もう少し議員の方でも積極的にそういう負担金のないような意見をしてもらいたい。	■産業建設常任委員会に所属している。大事なこととしてとらえている。市民の皆さんからの代表でずいぶん協議がされ、その結果を受けて9月議会に提案されている。その際には、住民に十分説明がされていないのに委員会で審査できる段階ではない、もっともっと住民に説明するようにと水道部に返した。行政懇談会でもずいぶん意見が出ていたが、その答えは模範的な回答ばかりである。合併協議で5年を目途に調整されることになっていた、公平性の観点から市内同サービス同一料金が望ましい、水道事業は独立採算制が原則で一般会計からの繰り入れは必要最小限とすべきであるというように料金改定に踏み切ったというのが市当局の考えである。直接負担するのは住民であるので、もっと議論を重ねて、住民のみなさんに理解を求めてから慎重に結論を出さなくてはならないということで、今継続審議になっている。今月30日から12月の定例会がはじまるので、委員会でもこれを十分にもんでいって議会としての結論を出したい。今ここでどうなるというのは言える問題ではない。	水道部	・料金改正に伴う住民説明は、広報誌、行政懇談会において説明を行い、一定の周知は行ったと考えております。しかし、十分な説明であったかどうか、住民が内容を理解し納得されたとは言えない状況であります。今後においては、きめ細やかな説明を行うため自治会単位でのふれあいミーティングとして説明し、理解を求めることとしています。	波賀
32		水道	○合併して郡が市になっただけだと思っていたが、いろんな意味で負担が増えてきた。水道、消防、学校、給食センターなど、ものすごく暗い気持ちになる。水道料金も山崎町と比較と比べてよく聞いていけば戸原だけが簡易水道で街中は上水道で上水道との差がいくらからいかというのはいくら説明がないし、国からの補助金をもらうためというのが補助金が減ればまた料金も上げるのかということにもなるし、水を作る単価を下げる方法があまり見えてこない。合理化できるところは合理化して人員削減や業務委託して、水道料金を下げる手立てがあまり見えてこない。議員さんをお願いしたいのは、今継続審議ということであるが、12月も継続審議になるように頑張ってもらいたい。	■ものを仕入れるのに出来るだけ安くするというのは当然である。9月の委員会でも意見として申し上げているが、もう少し詰めていきたい。この件に関しては、議会も委員会も非常に神経をとがらせている。仕方ないという部分と払うのは誰であるかということが交差をしている。12月議会でどういう結論が出るかこの場では言えないが、慎重に取り組んでいきたい。	水道部	・常に水を作る単価を押される努力を行っております。具体的には、組織機構の見直しにおいて、類似業務を統合し、効率的・効果的に実施できる体制とし、人件費の抑制。また、O A化の推進や業務委託により人件費の抑制や施設運転管理経費の節減に努める。など事務事業経費の節減努力を行っても事業収支において赤字の増大が発生する見込みであることから料金の見直しを行い、改正の必要性等について、説明し理解を求めることとしています。	波賀
34		水道	○自治会長会で説明があったが、行政懇談会と内容は同じ。苦しい状況であるから、上げるなど言っているのではないが、今まで水道がなくやっと完成して加入を推進するという地区もあり、来年9月までは特別加入金が設けられている。水道ができるというときに、値上げという話は一切なかったのに、急に降って湧いてきた話である。一人暮らしや老人世帯はかなりの負担になるので、段階的に。水道は独立会計で一般会計からの繰り入れができないというが、国保会計には一般会計から繰り入れがあった。水道はできないという理由はないのではないか。当分の間はそういう措置を考えて猶予を持たずようなことを議会の方で検討してもらいたい。12月に議案がすんなり通るようなことにならないように。	■この間、私と岩藤議員とで自治会長のみなさんがお集まりのところいろいろ思いを言わせていただいた。栄栗市の中に5つの会派があり、私は創政会であるがその中でも議論をしている。水道の関係であるので産建の委員会で審議されている中で、それぞれの町から委員が出ています。千種町の現状を話したり、市の方に46億の事業費をお願いして、過疎債とかいろんなものが充当されながら半分ほどが起債、借金の塊であるので迷惑をかけている部分もあるけれど、段階的に上げていただくか、接続率がもう少し向上したときに上げていただくことにならないのかということも言わせていただいている。まずは委員会の中で審議されているが、会派の中にも委員会に所属しているものがあるので、そういったことも十分に伝えてもらいたいと思っている。山崎町が高すぎるので山崎の水準を下げたらどうかというような意見も出ている。起債のピークもきており、借金を返す時期も来ている。千種町においては接続率が低迷。自治会の中からは、そしたら水道に繋がらないという意見も出ている。そうなら市の方は基本料金も買えないし加入金も買えないので先延ばしにしたらどうかという意見も我々の方からも出ている。	水道部	水道建設時の説明では、合併も視野に入れて計画されていますし、その当時の広報誌には、「合併までは現行の料金のままを継続するが、合併後については、加入金が1.5～2.0倍にまた、料金についても調整されると予想されます。」とあります。簡易水道事業は、公営企業会計制度の適用を受け、独立採算制をとるべきであるが、特別会計として赤字部分については、一般会計からの繰入金で補てんし、収支を図っております。	千種
35		水道	○このことに関してはいろいろと調べた。46億円とか過疎債とか言われるが、最初に工事をやられるというときに住民に説明をされていない話。誰もがタダでやってもらえると思っていた。それを値上げするということになったら戸惑うのは当たり前である。合併でどさくさでやられたという感じがある。行政懇談会で出てくる資料が私たちの知りたい情報が記載されていないものである。栄栗市近辺の水道料金がどういふふうになっているか知りたいのに、m3がいくらかいというものだけである。赤穂が20m3で934円であるのに栄栗市が4050円、千種川の上流にいて4倍以上、納得できない。それだけ料金を上げて働く場もない、職人が多いまちで仕事もあまりないような時期にそういう仕事のことを考えなしに値上げをするということは、私には考えられない。トイレの水を溜めていてまとめて流すという年寄りもいる。そういうことも考えずに、机の上だけで計算してトントンになったらいいと、何か大事なことが抜けていると私は思う。	■私の自治会は、村の簡易水道であった。月いくらか使っても2000円くらいであった。上水に繋いで欲しいという要望があり、それでは6000円くらいになると大騒ぎになった。その時期に下水の整備があり、村の簡易水道では、流す水が足りなくなるので仕方ないと、あとは安心安全ということがあったので上水に切り替えることになった。たまたまタイミングも良かった。ここが聴きたいということは今までも説明をやったなかったと思うが、結論は水を作るのに金がかかる。もっと安く作るということになぜしないのかということがありますが、今まで金をかけた分だけ消費すれば順調にいったが、かけた金より消費する方が少なかったというのも原因である。金を払うのは誰であるかということをしつかり考えていかなければならない。便利を求めて作っているのであるが、そんなにかかるならもう少しほかの方法もあったのではないかと意見も今とどんどん出ているのでそのあたりも考えていきたい。今まで差がありすぎたということもある。山崎の住民のみなさんがなんとかしろとずつと声を上げているが安くなったことはない。それも含めて考えないといけないのではないかと考えている。	水道部	千種町時代に説明された内容については、具体的にはわからないが、その当時の水道整備に関する広報誌を見る限りでは、生活様式の変化による水量不足や地下水源等の水質悪化、水質汚染の問題が懸念され、町民の健康と暮らしを守るため簡易水道事業整備が必要であると説明されています。料金設定は、各町の自然条件やいろいろな要因で異なる設定となっています。効率性が悪いことにより料金設定は、経営面から見ても国からの有利な交付金や事務事業見直し努力をしても高い料金設定をせざるを得ない状況であります。	千種
36		水道	○私は理解できない。人口がだんだん減って行って負担が大きくなるのは当たり前であるのに、普通の考えではそういう工事はしないが、それを説明もなしにするというのは考えられない。その前に湧水で多くの方が井戸を掘られてやられている。そういう状態をわかっていながらやるということは理解できない。	■上水でも同じであるが、山崎町時代に人口が増えるの見込んで水量を確保するためにずいぶん金を投入した。現実には人口は増えていない。今、千種波賀で水道を整備するのは、安全安心な水を供給するというのが大目的であった。本先に説明が最後まで行きとどいたのかということが問題。料金の問題も、本当にみなさんに説明をしているのかということから始まった。ですから今、いろんな資料を作って説明をしているが、わかったとはなかなか言いにくいということだと思う。	水道部	千種町時代に説明された内容については、具体的にはわからないが、その当時の水道整備に関する広報誌を見る限りでは、生活様式の変化による水量不足や地下水源等の水質悪化、水質汚染の問題が懸念され、町民の健康と暮らしを守るため簡易水道事業整備が必要であったと考えます。	千種

平成22年度議会報告会「質問・意見・回答・今後の対応」概要

番号	大項目	小項目	報告会当日の意見内容（H22年11月26日・12月1日）	報告会当日の回答内容（H22年11月26日・12月1日）	担当部局	市の対応状況と考え方（H23年3月）	備考
37		水道	確かに水道料金を統一することは大事だと思う。借金をしているのだから早く償還したいということも言うこともわかる。これによって下水道の算出というのを安定させたいということもそうだろうと思う。自治会で水道を推進しようと各家庭に20万円ずつ提供して100%加入しようという話をもってきていたが、最近になって加入すると水道料金が高くなるというような話を聞いたので、水道をつないでしまったら毎月5000円も6000円も年金の中から払うのは問題であるとして自治会で推進するのは見送ろうということになった。これだけきれいな水をもっている千種川の源流におりながら、なぜそんなに高いのか、島内では水を確保できず明石から購入している淡路に次ぐ高額になっている。それはちょっとおかしいだろうと思う。	<p>■あくまでこの会は議会であるので、議員個人の考え方しか言えないがそういうことで聞いていただきたい。議会は今20人の議員がいて議長を除く19人で審議をする。最低10名が反対すれば否決になり、今の水道料金が続く。議会は大変重い責任を背負わされている。なぜ山崎町の水道料金がこんなに高いのかということ調べて、今度の一般質問で行政側のミスがあったのではないかと取り上げようと思っている。波賀の水道が一番安くその次が千種ということで大変大きな影響があるという認識で私どもは取り組んでいるので、私のそういうことにのぞむ態度は決めている。あくまで個人的な意見しか言えないところが残念であるが、そういうことで進めていく決意は、私は持っている。</p> <p>■岡前議員が態度を決めていると言ったが、わたしは最初に言った通り委員会で揉んでいきたいと思う。住民のみなさんのなぜだということにこうだと言えるまでは結論はなかなか難しい。水道料金を決めるときに市内から委員を選んで、その人たちが何回も何回も会議を重ねてこの案を出している。料金改正の必要性は、合併協議会でこうするとなっていた、公平性の観点から市内同一料金にする、水道事業経営の原則は独立採算制であるので一般会計からの補てんは必要最低限にしなければならないということである。公平性で4町を統一するのは当たり前のことであるが、公平性と上がるのとは違う、そこで独立採算制ということが出てくる。そういうことでこういう案が出ている。これは決まったことではない、提案されていることである。きっちり論議をしていきたい。</p> <p>■一宮にも簡易水道施設が9施設あり、昭和60年から平成11年の間に完成している。千種町の料金が高くなることは危惧している。接続率が増えない可能性がある。一宮でも下水道接続率はまだ低い。90%は接続しているが接続しない人は頑固として接続しないと言っている。一宮の接続率を上げてみたら公平に料金を負担していただくことが重要であるとずっと言っている。高山議員の意見に賛成であるし、私の所属する会派でも、値上げについては慎重に審議し、概ね反対の方向で進めたいと思っている。慎重な審議が不可欠である。</p>	水道部	水道事業は、安全で安心な水道水を安定的に供給し、住民福祉の向上と生活環境の改善に寄与することが行政の責務であり、地域住民は、自ら健康で文化的な生活を維持するため、飲用水には、水道水を適正かつ合理的な使用に努めなければならない責務があります。宍粟市のほとんどが水道水を供給できるよう普及を図っております。水道料金が高く設定しなければならない理由として、宍粟市の地形などの自然環境や人口密度の関係など都会と違った要因があります。その一つに豊富な水資源があることで水道水の使用量が極端に少ないこと。二つめに起伏に富んだ地形であることから配水池、加圧ポンプ場と各家庭に供給するための配水管が数倍必要となり、施設整備費用が膨大となることや事業運営など効率性が悪い状態であることから高い料金設定とならざるを得ないと考えます。	千種
38		水道	○山崎町の5年間の水道の滞納リストを見せてくださいと言った。毎年増えている。そういうデータはなかなか出してくださらないだろうけど、結局は不景気とかいろいろ考えられることはあると思う。今回上げるといことは滞納者が増えるということを考えていただかないと、いくらやられても払わなくてはどうしようもないことがある。公共料金を上げるときには無駄を削るということを言わざるを得ない。無駄は何かというと、職員を削減する、まだ多い。加西市などは大幅に削減した。それくらいの荒治療をしないと公債比率がいくらかか借金が1人頭いくらかかいてもいけないんじゃないかと思う。元々庁舎建築も反対であった。大きなお金を使って次々とやっていく、納得いかない。	<p>■一宮にも簡易水道施設が9施設あり、昭和60年から平成11年の間に完成している。千種町の料金が高くなることは危惧している。接続率が増えない可能性がある。一宮でも下水道接続率はまだ低い。90%は接続しているが接続しない人は頑固として接続しないと言っている。一宮の接続率を上げてみたら公平に料金を負担していただくことが重要であるとずっと言っている。高山議員の意見に賛成であるし、私の所属する会派でも、値上げについては慎重に審議し、概ね反対の方向で進めたいと思っている。慎重な審議が不可欠である。</p>	水道部	滞納整理については、滞納整理マニュアルに沿って事務事業を行っており、悪質な滞納者には、停水処分を行っております。社会情勢により、生活困窮者が滞納となれば分納誓約書を取り、分割して納付しやすい制度を活用し早期解消に努めております。	千種
39		水道	○上水道にしても下水道にしても生活が豊かになって喜んでいるが、住民がなんとかしてくれと言ってやってもらったものではない。値上げがなかったら一番いい。議員のみなさんも努力いただいていると思うが、絶対上げてもらったらだめだということではない。工事費が高いのはこの地形でわかる。どの企業でも企業努力はする。借金は払わなくてはいいが、住民のことを一番に考えてもらいたい。	<p>■一宮にも簡易水道施設が9施設あり、昭和60年から平成11年の間に完成している。千種町の料金が高くなることは危惧している。接続率が増えない可能性がある。一宮でも下水道接続率はまだ低い。90%は接続しているが接続しない人は頑固として接続しないと言っている。一宮の接続率を上げてみたら公平に料金を負担していただくことが重要であるとずっと言っている。高山議員の意見に賛成であるし、私の所属する会派でも、値上げについては慎重に審議し、概ね反対の方向で進めたいと思っている。慎重な審議が不可欠である。</p>	水道部	水道事業は、安全で安心な水道水を安定的に供給し、住民福祉の向上と生活環境の改善に寄与することが行政の責務であり、地域住民は、自ら健康で文化的な生活を維持するため、飲用水には、水道水を適正かつ合理的な使用に努めなければならない責務があります。	千種